

令和7年度都立福生高校 定時制課程における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力の形成	・生徒の理解度を即した授業内容を形成する。 ・基礎学力を確認する小テストを適宜実施する。	言語活動の充実を高めるため、一人1台端末を活用した発表活動を行う。
数学	基礎学力の形成	授業ごとに生徒の理解度を確認し、生徒の理解度に即した授業内容の形成を行う。	生徒が協力して問題を考察する時間を多く取り、主体的に問題に取り組む力を育成する。
英語	スピーキング指導の充実	授業内に数回スピーキングテストを適宜実施する。	スピーキングテスト等年に数回、一人1台端末を活用する。プリント演習はteamsを通じて連絡、作業をさせる
地歴公民	生徒が主体的に学ぶ姿勢を形成する。	毎回の授業で資料の読み取りを行う。	各教科で一人1台端末を活用した発表活動を実施する。
理科	生徒が主体的に取り組む学習活動の充実	一人1台端末を活用した発表活動を行う。	発表活動の際に生徒相互での評価を行い、生徒自らが学習に取り組む意欲を高める活動を行う。
保健体育	生涯にわたって運動を継続する能力を育て明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。	①身体活動の楽しさを味わい運動量を確保して体力の向上を図る。②安全公正協力などの態度を養う。③健康・安全について理解を深める。	①生涯を通じて継続的に運動できる能力を育てる。 ②男女共修を実現する。
音楽	音楽表現の創意工夫	音楽の表現方法を自ら考えさせる授業を行う。	単元のまとめごとにグループで音楽の表現方法を相互点検させる。
美術	美術表現の創意工夫	美術の表現方法と意図を作品に表現させる。	単元のまとめごとにグループで作品を相互評価させる。
家庭科	生活産業の各分野について自ら考える力をつける。	・生活産業の各分野の技術を身に付ける ・生活産業や職業に関する課題を発見させる。	生活産業や職業に関する課題をグループで考えさせ、発表させる。
情報	「問題の発見・解決学習の充実」	・各単元で問題点を考えさせる授業を行う。 ・各単元のまとめでグループで課題解決の方法を協議し、発表させる。	各単元でオンラインを活用した専門的な学びを行う。
ビジネス基礎	商業の学習分野の内容や目指す能力、資格取得への能力をつける。	商業科目の基礎的・基本的な知識を身につける。また、様々な資料を活用して、客観的に把握させる。	様々な角度から考察し、進路実現に向けての判断をさせる。